

日本学術会議 史学委員会 ジェンダー史学の知見と方法の社会実装分科会

第 26 期 第 2 回会議 議事要旨

日時：2024 年 9 月 23 日（日）14:00～16：00

場所：オンライン（zoom）にて開催

出席者：高橋裕子・芳賀満・長志珠絵・京樂真帆子・久留島典子・小浜正子・平野千果子・
三成美保・來田享子・姫岡敏子（11 名）

1.分科会の特別委員認定の件

2024 年 8 月 30 日幹事会承認により、連携会員（特任）として姫岡とし子先生と星乃治彦先生の参画が決定したことが報告された。

2.分科会幹事会（2024.8/15）開催報告にもとづく意見交換

分科会幹事会で検討した今後のスケジュールおよび企画等について意見交換がなされた。

第 1 回分科会で提案のあった学習会講師については 1 件、お断りがあったことが報告された。

3. 今後の活動計画について

今後の活動計画について意見交換がなされ、24 期から引き継いだ「見解」の提出に向け

て準備を進めることが確認された。日本学術会議関連分科会が主催・共催するシンポジウムの案内ほか、本分科会に関連する情報交換が行われた。

<意見・情報交換の主な内容>

- 24期の成果を基に、新たな「見解」をまとめる。
- 見解発出、シンポジウム等の準備に向けた学習会の検討（次回分科会）
 - 歴史総合教科書の実際の内容をふまえた問題点の共有
 - 県の男女共同参画が行なっている歴史教育啓蒙事例等の紹介（滋賀県の副読本等）とその共有
- その他
 - ◇ 高大連携歴史教育研究会での新たな取り組みと状況
 - ◇ 「暗記教育ではない歴史教育」の小中学校での取り組み状況
 - ◇ 大学での執行部も含めた女性割合の数値化の可視化の必要性
 - ◇ 大学も含め教育における男女格差、人事採用過程での懸念
- 9-12月での主に学術会主催のダイバーシティとインクルージョンに関するシンポジウム等についてアナウンス

以上